

# こめつつじ



皿が峰のハシリドコロ *Scopolia japonica*

2024年 **6** 月号

NO 516



**善通寺山の会**  
YAMANOKAI



鶴の舞での  
Mさん

5月19日に  
剣山 行場コースに行っ  
てきました。

鶴の舞からローダー  
ンで降りてくるDさん  
一番の難所でした！



ほぼ垂直のハシゴは不安定で、  
ロープは2本の内1本は  
切れかけでした。



ハマって動けないのではありません。鎖に足をかけて登っています。

左写真のおくさり(鎖場)を上から見たらこんな感じ

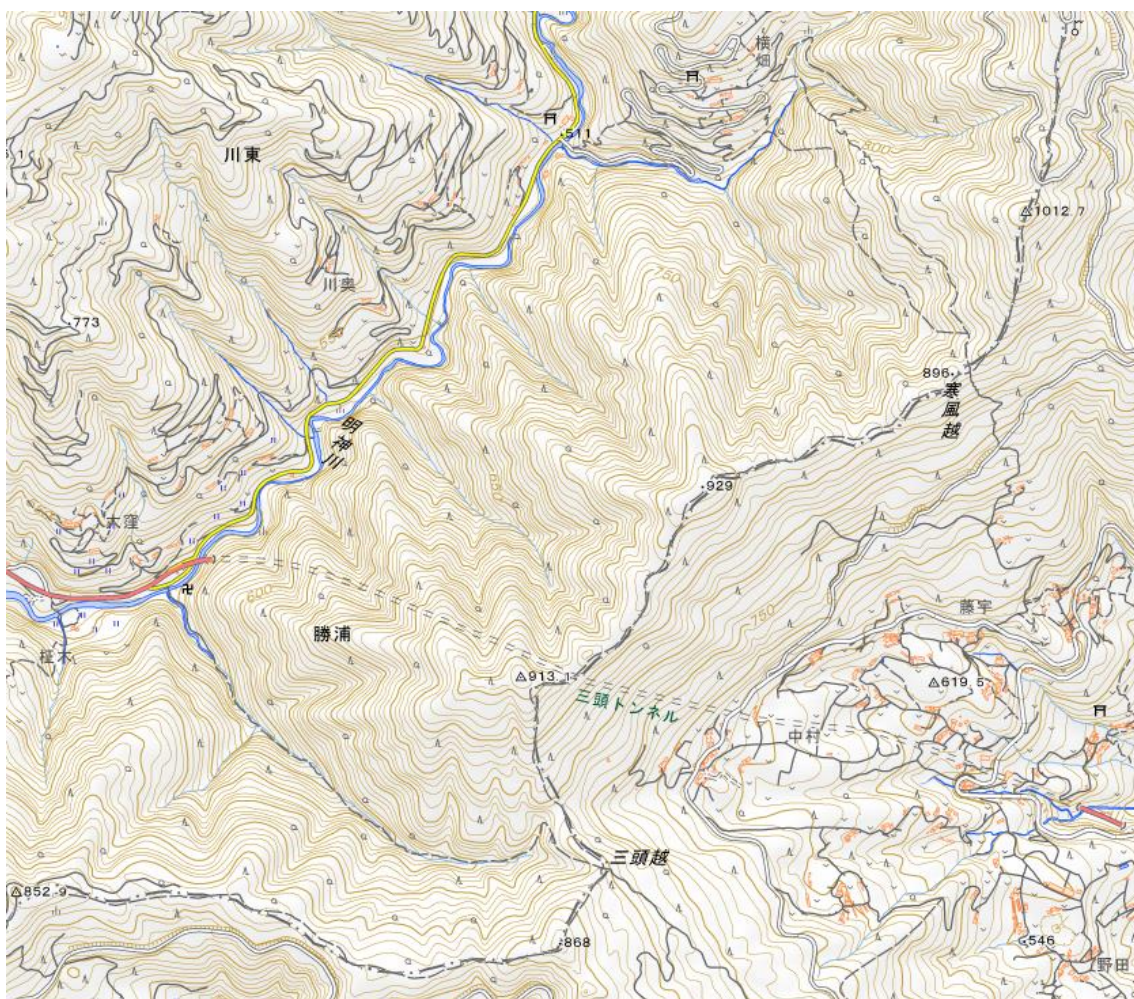


雨で岩が滑り危険なので途中からチェストハーネスで確保してもらいました。

# 読 図

- 日 程 : 2024年6月30日(日)
- 目 的 : 読図の基本を学ぶ
- 場 所 : 香川県まんのう町三頭越周辺
- 
- 準備会 : 6月13日(木) 19:30~ 事務所にて
- 体力度 2★★☆☆☆ (初心者~初級)
- 技術度 A★☆☆☆☆ (初心者クラス)

地形図、コンパス。個人装備に挙げられていても人任せだった方、講習で学んでいるのに使い方がイマイチわからない方、今回は基本的なことを繰り返し反復するというやり方で、身に付けてもらおうと思います。



定例山行案内

あさごやま  
**朝来山757m**

- 日 程 2024年 7月 7日 (日)
- 目 的 朝来山で「竹田城跡」を望む。
- 場 所 兵庫県 朝来市
- 
- 準備会 6月12日(水) 19:30～ 事務所にて
- 体力度 2★★☆☆☆ (初心者～初級)
- 難易度 1★☆☆☆☆ (初心者)

朝来山から見える竹田城跡は近年、雲海に浮かぶ姿が「天空の城」として有名になっている人気スポットです。標高約400mには「竜神の滝」があり、約420mには「おおなるの池」があるため、頂上までにも見どころが沢山あります。興味のある方はご参加下さい。



定例山行案内

## 石鎚山 1.982m

- 日 程 2024年 7月 21日 (日)
- 目 的 石鎚山で夏の花を楽しむ
- 場 所 愛媛県 西条市
- 
- 準備会 7月4日 (木) **19:00~ (例会の前)**
- グレード 体力度 2 (初心者~初級)  
難易度 B (初心者~初級)

お馴染みの石鎚山で涼みましょう。土小屋ルートには夏のお花がたくさん、岩場には四国では珍しいお花も咲いていて、何度でも行きたい山です。登山口が遠いのお花を楽しみたいので、出発時間早めに行きます。時間に余裕があれば、天狗岳も行けるかも。歩行時間 6時間、約 9km、標高差約 900m。

定例岩トレ案内

## 岩トレ 3

- 実施日：2024年6月15日 (土) 9時~15時
- 場 所：大屋富の岩場 (坂出市)
- 

定期的を実施している岩登りトレーニングです。ロープワーク技術の勉強にもなります。準備会は行いませんので、参加希望者は6月12日 (水) までに佐藤なへメール等でご連絡ください。

定例岩トレ案内

## 岩トレ 4

- ◆ 日 程 2024年 7月 21日 (日) 8:30~15:00位
- ◆ 場 所 大屋富の岩場
- ◆

定例の岩トレです。基本的な内容の確認にしたいと思います。参加される方はヘルメット、ハーネス、クライミングシューズ、シングルロープ、その他クライミング道具一式を持参してください。

## 夏合宿 蝶ヶ岳 2,677m

- 日 程 2024年 8月10日(土)～12日(月)
- 目 的 夏の常念山脈縦走
- 場 所 長野県 松本市
- 
- 準備会 6月例会で決めたいと思います
- 体力度 4★★★★☆(中級)
- 難易度 D★★★★☆(中級)

恒例の夏合宿として、北アルプスの常念山脈の蝶ヶ岳及び周辺の山の縦走を行いたいと思います。6月例会で相談してルートを決めたいと思います。行ってみたいという方、情報をお持ちの方は、是非例会に参加ください。

<常念岳・蝶ヶ岳ルート> 一ノ沢→常念岳→常念小屋(テント)泊→蝶ヶ岳→蝶ヶ岳ヒュッテ(テント泊)→三股

<燕岳・大天井岳・常念岳・蝶ヶ岳ルート> 燕岳登山口→燕岳→大天井岳→大天荘(テント)泊→常念岳→蝶ヶ岳→蝶ヶ岳ヒュッテ(テント泊)→三股



四国自然保護集会

# 「四国の山の現在」



冠山方面から平家平を望む

日時 2024年6月23日（日）10時から15時

場所 高知市中央公民館11階大会議室（かるぼーと内）

内容 **山田孝樹さん**（四国自然史科学研究センター）

「四国のツキノワグマの生息状況」

**押岡茂紀さん**（三嶺の森をまもるみんなの会・西日本科学研究所）

「奥山の現状から流域の未来を考える」などを予定

参加費 **無料（どなたでも参加いただけます）**

主催 日本勤労者山岳連盟四国地方協議会

共催 三嶺を守る会

主管 高知県勤労者山岳連盟

（080-4037-3804 中田）



県連講習会案内

## セルフレスキューと搬出訓練

- 日 程 2024年 6月 23日（日）10:00~16:00
- 目 的 危険箇所を安全に通過する方法を学び、安全登山に役立てる
- 場 所 五色台クラフトハウス
- 

山を歩いていて、ちょっと危ないな～なんてことはありませんか？そんな時いつも持参しているロープを使って、安全に簡単に通過する方法を学びます。備えあれば憂いなしです。一緒に技術を身につけましょう。

準備会はありませんので参加希望される方は、森山まで6/8までに連絡下さい。

### 2024年度の山行、ハイキング、行事の予定

会報に案内を載せている以降の予定です。スケジュールに入れて参加しましょう。

月	日	曜日	山行予定	
7	28	日	沢歩き	
8	4	日	子持権現ホンガケ道	
	10~12	土日月	蝶ヶ岳	
	17~18	土日	沢登りー1	
	24	土	岩トレー5	
	25	日	日帰り	
	25	日	四プロ沢登り（高知）	
	31	土	岩トレー6	

上記予定は変更になる可能性もあります。

定例山行報告

## 皇子溪谷～豊受山 1,247.4m

- 日 程 2024年 4月 28日(日)、晴れ時々曇り
- 場 所 愛媛県四国中央市
- 目 的 溪谷と春の花を楽しむ
- 参加者 12名
  
- 費 用 走行距離：116.1km、高速代往復：軽 2,460円・普通 3,000円、  
1,530円/人

コースタイム

事務所 5:00====土居 IC====6:00 野田登山口 6:20…………7:45 豊受山分岐……  
10:40 豊受山 11:10…………11:30 豊受神社……14:10 豊受山分岐……15:40 野田登山口  
====土居 IC====17:00 事務所

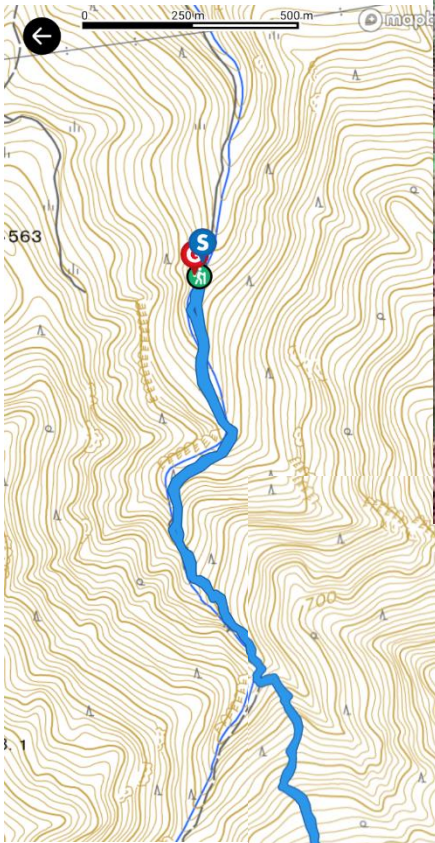
登山口の駐車スペースが限られているため、駐車場確保のため事務所を 5 時に出発。土居 IC から野田登山口まで 15 分ほどで到着。駐車スペースには既に 3 台駐車していた。

野田登山口からスタートし、歩き始めてすぐに白い小さなお餅がくっついたようなユキモチソウ(雪餅草)が咲いていた。花のそばには赤星山愛好会が作成した写真入りの説明書きがあり親切です。

赤星山との分岐までは沢沿い歩きで、数箇所に橋と鎖が設置されており、機滝(はたたき)、布引滝、紅葉滝、玉簾と滝を見ながら歩きます。沢の水はとてもきれいで、姿は見えませんが鳥の鳴き声も聞こえます。1 つ目の赤星山との分岐からは、『隆ちゃん新道』を進みますが、急登続きでロープが設置された所もあります。途中、『えんやこらしょ』『どっこいしょ』『あらよっと』の立て札があり和みます。シコクカッコウソウ、ニリンソウ、ヤマシャクヤク、スマレなど花盛りでした。豊受山と赤星山の 2 つ目の分岐からは稜線歩きです。カタクリ、アケボノツツジも花のピークは過ぎていましたが咲いていました。豊受山山頂で休憩後に下山開始。豊受神社に向かう途中で黄色いツツジ(ヒカゲツツジ)が咲いていました。

隆ちゃん新道は慎重に下ります。後ろ向きになったり、お尻を落としたりして下ります。お腹がいっぱいで眠気がでてきたり、脚に疲れがでてきたり・・・下ることに集中です。

花の時期もあってか登山者は多く、下山後の駐車スペースには無理やり駐車したような車もみられ、計画通り 5 時出発で正解でした。



## 塔の丸(1,713m) ～ 寒峰(1,604m) 祖谷山系縦走

- 日 程 2024年 5月3日(金)～4日(土)
- 場 所 徳島県三好市
- 目 的 祖谷山系の山を楽しむ
- 参加者 3名
- 費 用 200km(往復) 5,260円/人(食事他含む)

5月3日(1日目) 快晴

山の会事務所 4:20=6:15 寒峰登山口住吉神社(車デポ) =6:50 名頃登山口 7:15…  
10:10 塔の丸山頂…10:50 分岐…14:35 小島峠…17:05 テント泊場所

今回の縦走は長時間かつ長距離のかなり厳しい行程であり、参加できる自信がなかった。CLに相談すると「だからこそパーティを組んでチャレンジするんですよ。」の言葉を頂いて思い切って参加することとした。

1日目は早朝に事務所を出発し、寒峰登山口の住吉神社に車をデポし、7時前に名頃の三嶺登山口に到着したが駐車場は満車で空きスペースにしろうじて駐車できた。流石のGWである。

我々は反対側の塔の丸を目指して登り始めるが、登山口には明確な赤テープも案内も無い。植林帯のいきなりの急登を登るが、登山道もハッキリしないまま登り続けると、やがて天然の



樹林帯になり綺麗な新緑やツツジが出迎えてくれた。

さらに高度を上げると笹原となって眺望が広がり、向かい正面には三嶺山系、左側には剣山系が見渡せて感嘆の声が上がる。程なく塔の丸山頂に到着したが、GWなので、ここにはハイカーもそれなりに来ていた。

塔の丸を出発し小島峠に向けての分岐を探すが、明確な分岐やルートは見つからず、色々を探していると、CLが偶然にも鹿の角が落ちているのを見つけた。その後も地図を見ながら笹原の獣道を進むと、何とかルートを確認でき尾根を進む。途中、地図には無い作業用林道があり惑わされる。林道を歩くと暑くて単調で辛くなるので、何度か意識的に尾根道に戻りながら痩せ尾根を進むとやがて小島峠に到着した。

小島峠は、今回の行程で一箇所だけの水の補給箇所であ



り、テント泊での食事用水と翌日の行動中の飲料水を、峠のお地藏さん横にある黒いホースから補給させて貰った。各自、40位を補給したので、ザックが急に重くなった(笑)。

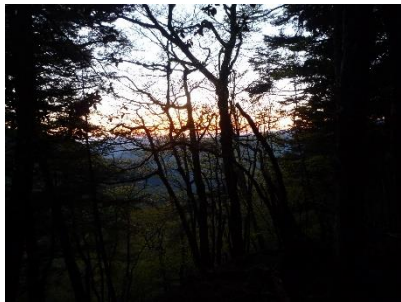
小島峠を出発し、再び登山道を進むが、かなりの痩せ尾根であり注意しながらゆっくり進む。地図では一山越えて少し下ったコルにやや平坦な場所がありそうなのでそこを目指す。一箇所だけテントが張れそうなやや平坦な箇所があり一安心した。ここまで約10時間の行動となった。夜も完璧な晴天で風も穏やかで、鹿の鳴き声も聞け、木の葉の間からはとても綺麗な星空が見ることができた。



5月4日(2日目)快晴

3:00 起床 テント場出発 4:30…8:00 黒笠山…11:35 矢筈山…13:25 落合峠…  
17:40 寒峰…19:55 住吉神社(デポ車)=20:50 名頃登山口=23:20 山の会事務所

2日目は、更に行程が長いため、3:00起床、未明の4:30にはヘッドランプを着けて出発した。歩き始めると間もなく空が白んできて、東の方向に本当に綺麗な朝焼けのオレンジ色のグラデーションや大きくてまん丸な朝日を見ることが出来た。



良かったのはここまでで、歩を進めるもののルートがはっきりせず、赤テープもあまり無く、地図を見ながら進むが、2度ほどプチロストして引き返した。さらには予想以上の痩せ尾根や小さな急な登り下りが続きなかなか進まない。危なそうな下りもありCLがロープを出してくれてなんとか進めた。苦勞しながら黒笠山山頂への到着したのは計画より1時間40分遅れとなった。

黒笠山は、四国のマッターホルンとも呼ばれているとのこと、前後になかなか厳しい登山道が続いており、矢筈山への下りでは、安全確保のためロープを何回も出してもらった。

次の矢筈山が今回の最高地点(1,848.8m)で、テント場から距離的には余り無いのに約7時間もかかってしまった。この区間で苦勞したお陰なのか矢筈山山頂では360度の絶景が待っていてくれた。GWなのに塔の丸分岐から矢筈山山頂までの間、登山者には全く合わず貸し切り状態の山行となった。



矢筈山から先は、それまでに比べると穏やかな登山道を下り、標高1,520mの落合峠に到着した。朝の出発から既に9時間近く歩いており、後工程を考えると下山時には暗くなることが見込まれるため、大休憩をとって検討した結果、全員一致でリタイヤせずに先に進むこととなった。

落合峠から先は、比較的歩き易い登山道が続くが、疲

れた足のためか、登りになると急に歩く速度が遅くなる。とりあえず目の前の一つ一つの登りを終わらすことだけを考えて前へ進むと、ご褒美なのか何度も絶景が迎えてくれ、疲れを忘れることができた。



まだ先に小さな登りがあると思いながら歩を進めていると、突然、寒峰山頂に到着した。ここからの 360 度の眺望は一段と素晴らしく、剣山系、三嶺山系、そして西方面には夕日の下に石鎚山系のシルエットも見ることができ感動的であった。

既に日没の約

1 時間前であっ

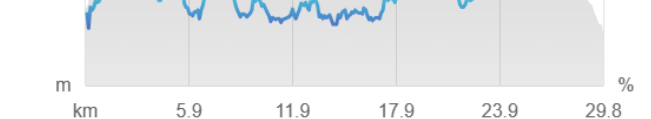
たので、山頂ではゆっくりせず下山を始めた。下山道は一度来たことがあるのに、余り覚えておらず新鮮な山歩きとなった。途中に山芍薬の群生地もあったが、ゆっくりせず安全のため先を急いだ。途中で暗くなりヘッドランプを着けた。最後には、舗装道への登山道が分からず、下りられる箇所から舗装道に出た。舗装道から、再度、住吉神社の駐車場に向けて登山道を下ったが、プチロストしながらも無事に駐車場に着けた。



舗装道から、再度、住吉神社の駐車場に向けて登山道を下ったが、プチロストしながらも無事に駐車場に着けた。

その後、車で名頃駐車場に向かったが車でもかなり時間が必要で、この距離の厳しい山道を歩き抜いたと思うと感慨深かった。

結果として、1 日目は約 10 時間、2 日目は約 15 時間 30 分の行動時間となり、2 日合わせての移動距離は GPS ウォッチで約 39km、YAMAP で 30.4km、累積のぼり高さは 3,018m となった。



今回の縦走は、GW でも人の少ない静かなコースで、じっくりと祖谷山系の山歩きを楽しむのが目的であったが、塔の丸以降は数える位しか登山者にも会わず、目的通りであった。また当初から距離と行動時間長いことは覚悟していたものの、小島峠から矢筈山まで間の痩せ尾根や登り下りの荒れた登山道の厳しさは、インターネットでの事前調査や地図からも予見できず、やはり事前準備の難しさを再確認させられた。

今回の山行を無事に終わって感じたことは、CL から事前に伺った「だからパーティを組んでチャレンジするのです」の意味と、細身の CL に重い荷物を持って貰い「おんぶにだっこ」で申し訳なかったこと、そして、山の会の今回の 3 人だからこそ完踏することができたことへの感謝の気持ちである。本当に「やり切った」という感慨のある、そして経験値を上げることができた山行であった。

## 剣山 行場

- 日 程 2024年 5月 19日(日)、雨
- 場 所 徳島県三好市
- 目 的 剣山の行場を極める
- 参加者 4名

- 費 用 走行距離：173km、1,220円/人

コースタイム

事務所 6:00====8:30 見ノ越 8:55……………9:00 剣神社……………9:55 西島駅 10:05…………… 10:20 刀掛の松……………10:35 行場……………13:00 刀掛の松……………13:10 西島駅 13:20…………… 14:00 見ノ越 14:20====17:00 事務所
---

準備会の時点では7名参加の予定でしたが、4名での山行になりました。事務所を出発してしばらくすると雨が降ってきました。雨でも見ノ越にはまあまあの数の車が駐車しており、バスも2、3台停まっていた。

カッパを上下着てスタートです。剣神社登山口は10℃でした。途中、頂上ヒュッテで泊まっていたと思われる数人とすれ違い、20人程の団体はバスツアーで来られたそうです。

西島駅で休憩をとり、刀掛の松で行場までのルートを確認します。キレンゲショウマ群生地を過ぎた辺りから登山道が石灰岩の石に変わってきました。いよいよ行場(修験道の修行場) 鶴の舞から始まりですが、ここが一番の難所でした。急斜面で足場はずると崩れやすく、フルボディハーネスでロープを使い確保してもらいながら下ります。足場が崩れてもロープのおかげで滑落はしませんが全身どろどろです。

不動の岩屋は狭くて暗い入口から滑りそうなハシゴを降ります。暗い洞くつの中は冷気が漂い、水が流れています。

おくさり(くさり場)は岩場の上から鎖が垂れ下がっているのですが、雨が降っていたので滑りやすく、途中から足場の確保が難しくなったので、チェストハーネスで確保してもらい登りましたが、更に上にほぼ垂直の心細いハシゴがありました。タイムオーバーのため剣山山頂へは行けませんでした、十分満足です。

今回の山行は山の会に入って1番ハードな山行でしたが、ロープを出してもらったおかげで無事下山できました。

家に帰ってから泥まみれの靴、スリング、カッパなどの洗濯が大変だったのは言うまでもありません……

## 太山寺参りと勝岡丘陵縦走

- 日 程 2024年 5月 19日 (日)
- 場 所 太山寺・経が森 203m勝岡 147m等 (愛媛県 松山市)
- 目 的 四国ブロック交流ハイク
- 参加者 3名
- 費 用 走行距離往復 276km 高速代 1台往復 3,720円 3,820円/一人
- 天 候 曇り時々小雨

※参加者合計 88名 (愛媛8名 香川37名 徳島24名 高知19名)

Aコース11名 Bコース74名 Cコース3名

### コースタイム

事務所 5:15 == 善通寺 IC == 松山 IC == 7:15 JA みかん集荷場 P7:20  
 . . . 7:30 太山寺 P8:30 . . . 8:40 太山寺 8:45 . . . 8:55 分岐  
 . . . 9:05 経が森 . . . 9:35 岩子山 181m . . . 9:45 小富士展望所  
 . . . 10:00 護摩が森 . . . 10:30 西山 172m . . . 11:05 勝岡 147m  
 . . . 11:50 白石の鼻 12:20 . . . 13:00 観光港ターミナル 13:20  
 . . . 13:50 太山寺 . . . 14:00 太山寺 P . . . 14:15 駐車場 ==  
 17:15 事務所

今回の四ブロ交流ハイク、善通寺は3名の参加と少し寂しい。コースは興居島と勝岡丘陵の2コースであったが、他会は興居島参加が多かった。偏らないでとのことだったので勝岡丘陵の縦走を選んだ。こちらのAコース参加は香川県連9名だった。

山行の数日前から天候確認していたが、あまりよくなさそうだったので、雨を覚悟していた。しかし当日は曇ってはいたがそれ程の雨では無くて良かった。

集合場所の太山寺駐車場に着き、受付をして出発までくつろいで待つ。先に興居島組Bコースが出発、経が森までは同じコースなので時間差で向かう。

時間差で出発したのだが太山寺でお参りしたときに会い、経が森の頂上近くでも、ガヤガヤと声が聞こえ、先発組が頂上にいるようだ。コンクリートの建造物の前で記念撮影などしており、すごい混雑だった





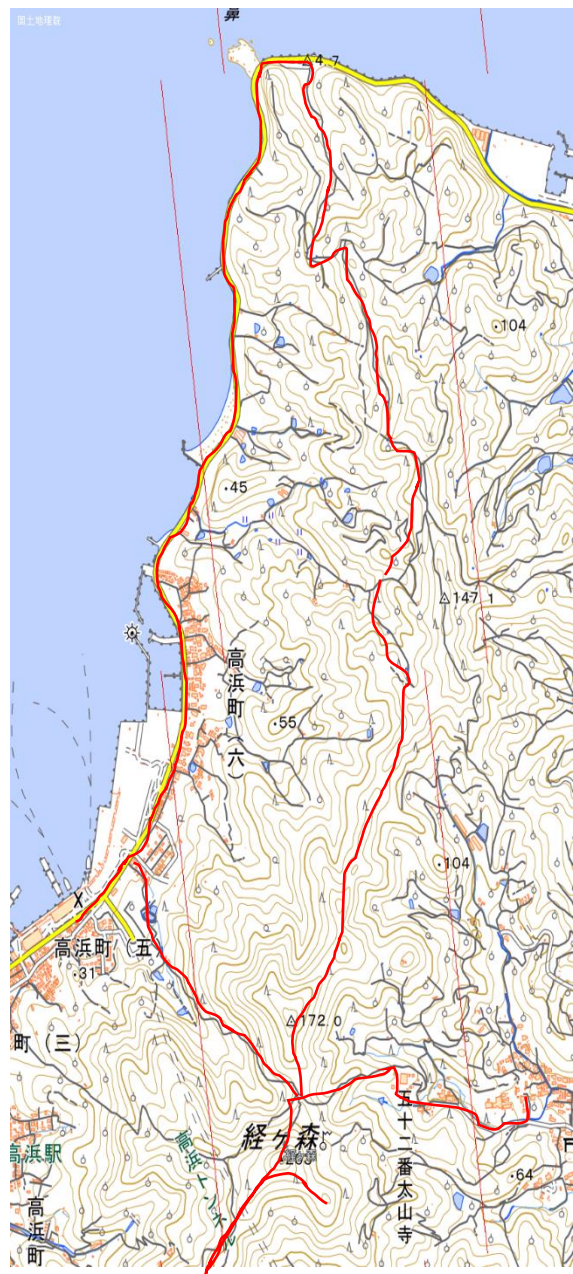


が、ここから先発組Bコースは港へ向かった。私たちはその後、岩子山と小富士展望所に行き経が森に戻ったが、時間に余裕があるので、護摩が森というピークにも行き、経が森の周りを行ったり来たりしてから、西山へ向かう。尾根伝いに勝岡丘陵を縦走する。登山道は草も刈られており、きれいに手入れされた道は歩きや

すい。白石の鼻に向けて下っていく。途中メンバーの一人が足をくじいたとので慎重に下る。白石の鼻でCコースのメンバーと合流して車で駐車場まで足をくじいたメンバーを送ってくれることになった。白石の鼻は海岸に神社と珍しい大きな岩がごろごろあり、向かいには海と島が見え、夕日の景色も素晴らしいとので、Oさんに夕日の写真も見せてもらった。ここで昼食、集合写真を撮ったりした。

昼食後は車道を歩き高浜観光港へ向かう。観光港の建物は歩き始めから見えているのだが、その割には中々着かない。40分程歩きターミナルに着いた。ここでお手洗いを利用、売店があり色々お土産を売ってたが、この後まだ峠を越えて帰らねばならないので荷物をあまり増やせない。小さなお土産を買って、アイスを食べて休憩後、最後の上りを登って太山寺を通り、駐車場に着いた。

駐車場についてみると私たちの車の前にぴったりと車が止めてあり、出ることができない。興居島メンバーの車で帰着はまだである。そこで愛媛県連Oさんが車の運転手を迎えにいつてくれ、しばらく待ったのち帰着した。



個人山行報告

## 佐々連尾山 1404m ・ 大森山

- ◆ 日 程 2024年 5月 5日 (日)
- ◆ 天 候 曇りのち快晴
- ◆ 場 所 四国山地
- ◆ 目 的 未踏ルート歩く。歩行トレーニング
- ◆ 参加者 1名
- ◆ 費 用 走行距離 200km 自家用車 3500円/1人 (往復)

5月5日 (日)

5:00 自宅＝善通寺 IC＝三島川之江 IC＝7:00 白髪隧道登山口・・・7:15 出発・・・  
8:25 大森山・・・9:05 佐々連尾山・・・10:05 中川峠・・・11:25 佐々連尾山・・・  
12:00 大森山・・・13:10 登山口＝三島川之江 IC＝善通寺 IC＝15:30 自宅

ゴールデンウィークの日曜日に日帰りで四国山地の稜線を歩いてきました。

当日は天気は良かったのですが、風が強くて稜線を歩いている間はずいぶん難儀しました。このルートは始めて来たのですが、稜線に上がるまでは高さのある岩場を何か所か通過します。どの場所も整備されていてロープやアブミなどが張られていて安心して通る事が出来ました。



稜線に上がってからもしっかり整備されていて気持ちの良い縦走路でした。

往路ではガスがかかって景色は無かったのですが復路にさしかかる頃には晴れてきて北方の法皇山脈の向こうの瀬戸内海まで見渡せて素晴らしい景色を見る事が出来ました。

もう少し早い時期にはツツジがたくさん群生しているようで、目当ての登山者がたくさん訪れるようです。当日はもうツツジは殆ど終わっていましたが、それでも結構な登山者とすれ違いました。人気のあるルートなんだと思いましたが納得出来る良いルートでした。

## アポイ岳 810m ・ 伊達紋別岳 714m

- 日 程 2024年 5月 15日(水)～19日(日) 晴れ
- 場 所 北海道 様似町・伊達紋別市
- 目 的 北海道の早春の山で固有種の花を楽しむ
- 参加者 4名  
内会員外：2名
- 費 用 宿泊代 32500円 レンタカー代 9475円 飛行機代 39140円  
高速料金、ガソリン代 3300円/人

5/15(水) 各自自宅善通寺 9:45====岡山空港 12:10 ANA379 ====14:00 新千歳  
空港 オリックスレンタカー借用 15:30====17:00 ホテルサトウ (泊)

5/16(木) ホテル 6:00====7:00 冬島登山口 7:30……………9:20 五合目避難小屋……  
11:20 アポイ岳 12:05……………幌満お花畑経由……………14:00 五合目避難小屋 14:15…  
…15:45 登山口 16:00……………17:00 ホテルサトウ (泊)

5/17(金) ホテル 10:00====12:00 キノコ王国昼食 13:00====14:00 昭和新山 14:  
30====15:00 登別温泉地獄谷 16:00====17:00 苫小牧ホテル (泊)

5/18(土) ホテル 6:00====8:00 太陽の国駐車場 8:30……………8:35 モンベツ岳登山口  
10:05 中ノ峰……………10:50 前紋別岳……………11:20 伊達紋別岳 11:50……………12:10 前紋別  
岳 12:20……………12:40 中ノ峰 12:55……………14:00 モンベツ岳登山口・駐車場

5/19(日) 9:00 ホテル====9:30 ウトナイ湖 11:15====11:45 レンタカー返却  
14:20 千歳空港 ANA380====16:20 岡山空港====18:00 善通寺着

北海道アポイ岳の、固有種の花と伊達紋別岳のシラネアオイを見に行きました。道央の襟裳岬に近い様似町に位置し、アポイ岳ジオパークとして2015年ユネスコ世界ジオパークに認定され、かんらん岩と高山植物で有名です。アポイはアイヌ語のアベ(火)・オイ(多い所)・ヌプリ(山)が略されて言うようです。ゴロゴロとしたかんらん岩の



岩場にはサマニユキワリ、エゾキスミレ、アポイタチツボスミレ、アポイクワガタ、ヒダカイワザクラ、アポイワザクラ、エゾオオサクラソウ、ヒメイチゲ、フデリンドウ、ヒロハヘビノボラズ等がたくさん咲いていました。山頂には一等三角点があり、ダケカンバの樹林に覆われており、風が涼しくそれまでの暑さが引きました。北見方面から4時間車を運転してきた女性に

記念写真を撮影していただく。四国も行ってみたいと話されていたので石鎚、剣、三嶺を勧めておきました。

一日目には岡山空港から新千歳空港へ到着。お花友達と合流しレンタカーで新ひだか町までドライブ。広い牧場が続き、新緑と八重桜が満開でした。三日目は雨予定なので支笏湖、洞爺湖、有珠山、昭和新山、登別温泉の地獄谷をドライブ。ドライブした事で羊蹄山、ニセコ連峰などが解りました。羊蹄山は大山のように見えました。

四日目にシラネアオイで有名な伊達紋別岳に登りました。天気も良く大勢の登山者で賑わっていました。心配していた駐車場もいくつかあり、一安心。登山口からマイズルソウ、目的のシラネアオイが咲き始め、至る所にシラネアオイ、ツクバネソウ、アズマキク、ハクサンチドリが咲いており、各自写真撮り放題でした。笹原に覆われた、土佐矢筈山に似た山容で、展望も良く快適な登山道でした。山頂からは地元の方が教えてくれた雪の残った羊蹄山、ニセコ連山、駒ヶ岳。洞爺湖、有珠山、昭和新山が見え北海道の広さを感じました。その夜は苫小牧ホテルの近く、明治から3代続く洋食屋さんでディナーとビールで乾杯。レトロで素敵な空間でした。



五日目は近くのウトナイ湖に寄り、リンゴに似たズミの花が咲く遊歩道を散策。冬には白鳥など渡り鳥が来るようです。レンタカーを返却し北海道にさようなら。優雅で快適な時間を過ごすことができ、お世話になったリーダーに深く感謝しました。



個人山行報告

上州武尊(ほたか)・越後巻機(まきはた)山

- 日 程 2024 05/18 土~5/21 火
- 場 所 群馬県利根郡水上町川場村 新潟県南魚沼市 ■広義越後山脈?三国山脈
- 目 的 深田百名山を参考に日本各地の山に登る。 ■参加者 1名
- 費 用 ETC25360円 距離 1785 km 16 km/ℓでガソリン 112ℓ約2万円

5/18 土 善通寺 16:00=北陸道・仮眠・一般道・関越道=  
5/19 日 高曇り 3:00 武尊神社 P 仮眠 朝食 6:55→8:40 手小屋沢避難小屋→  
10:30 武尊山→14:15 武尊神社 P =関越トンネル=南魚沼道の駅仮眠



予定より遅れて出発。工事のため片側車線走行の部分が長く最短ルートが推定が困難なようで指示ルートが変わりまくる。上越 IC から一般道を走り関越トンネルを抜けて群馬県にはいり、武尊神社 P で仮眠。

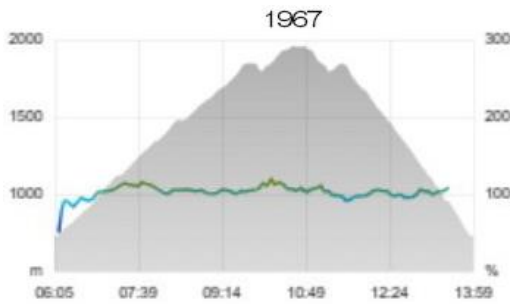
朝食後林道を登り始め次第に山道になる。かまぼこ型の小さな手小屋沢避難小屋がある。岩場が多くヘルメットをかぶり、鎖場も頻回に出てくる。雪が付いている部分もあるがアイゼンを出すほどのことはなかった。視界が開け巻層雲による高曇り。山頂につくと視界は良好で。双耳峰の燧ヶ岳、近くに至仏山なども見える。山頂からは南西に伸びる稜線を下る。シャクナゲなど花盛り。とがった峰の手前から急こう配の下りが連続し結構きつい。沢を渡りようやく緩い下りになる。雨がぱらついたが無事武尊神社 P に帰還。

翌日の天気は悪そうなので岩山の皇海山は中止、何とかかなりそうな巻機山をめざす。再び関越トンネルを通り抜け新潟県側へ。イオン六日町で食料



購入, 南魚沼道の駅で駐車熟睡。

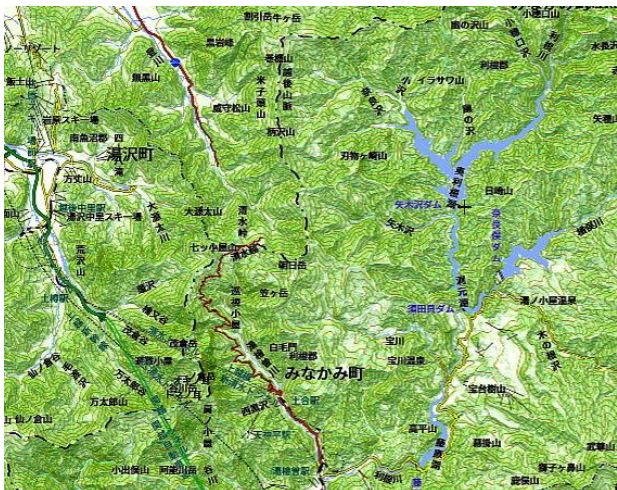
5/20 月 雨 一時晴れ 南魚沼=清水桜坂 P6:05→9:40 ニセ巻機→10:35 巻機山  
→11:30 ニセ巻機→13:59 清水桜坂 P=長岡 JCT=北陸道=5/21 3:00 善通寺



朝になっても雨天は続く。行き止まりで有名な 291 号を南へ進む。視界は比較的良好で車内から巻機山と割引岳(わりびきだけ・わりめきだけ)の全貌がつかめ登高意欲が高まる。清水桜坂登山口にクルマを置き、カッパを着て登り始めるが、暑くなり傘に変更。樹林が低くなり笹原の吹きさらしになってカッパを着なおす。

ニセ巻機に近づくと、雨が上がり晴れ間も広がり日差しを浴びる。向かいに苗場山が姿を現す。積雪が多くなりりっぱな避難小屋を通過。再び曇り始める。標識のある巻機山頂と、高さは高いがケルンだけの山頂を通過。再び雨になり帰路を急ぐ。山頂付近は池塘になりミズバショウも咲いている。花崗岩のような岩質で砂がまざりまざり滑らない。おおぜいで遠出して雨天の場合ここに変更すればよい。他の登山者には全く会わなかった。

南魚沼清水付近は入母屋でもかわら屋根の家がほとんど見られない。豪雪のためか地震対策なのか、後者なら我々も見習わなければならない。いったん北へ長岡 JCT に向かい、北陸道を西南へ長い時間走り続けた。工事のため片側車線走行の部分が多く予想よりかなり遅く帰ってきた。



6月			7月		
1	土		1	月	
2	日	大麻山登山道整備	2	火	会報部会
3	月		3	水	Enjoy座学
4	火	会報部会	4	木	例会・石鎚山準備会
5	水	enjoy座学	5	金	
6	木	例会・尾瀬準備会	6	土	
7	金		7	日	朝来山・Enjoy大屋富
8	土		8	月	
9	日	烏ヶ山・enjoy七宝山	9	火	
10	月		10	水	山行部会
11	火		11	木	
12	水	山行部会・朝来山準備会	12	金	尾瀬至仏山
13	木	読図準備会	13	土	
14	金		14	日	
15	土	久住山・岩場基礎・岩トレ3	15	月	
16	日	↓	16	火	
17	月		17	水	事務局会議
18	火		18	木	運営委員会
19	水	事務局会議	19	金	
20	木	運営委員会	20	土	甲斐駒ヶ岳
21	金		21	日	日帰り石鎚山・岩トレ4
22	土		22	月	
23	日	四プロ研修会(高知)・セルフレスキュー	23	火	
24	月		24	水	
25	火	原稿締切	25	木	原稿締切
26	水	登山学校実行委員会	26	金	
27	木		27	土	
28	金		28	日	沢歩き
29	土		29	月	
30	日	読図	30	火	
			31	水	登山学校実行委員会

◆月会費:1,100円 入会金:1,000円

◆申し込み・問い合わせ先 ☎(0877)22-0036 佐藤



こめつつじ No516

発行:善通寺山の会 会報部	発行日:2024/6/4
住所:香川県善通寺市下吉田町143-1	
発行人:三野	編集責任者:村上しのぶ